TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエス・キリストの即位　裁判

マタイによる福音書 26:57-68

2024 年 6 月 15 日 & 16 日

余沢 武　牧師

I. はじめに

こんにちは！父の日おめでとうございます！今週末は、父の日があります。今日は、すべてのお父さんに敬意を表して、お祈りしたいと思います。父親である皆さん、どうぞお立ちください。

祈りましょう。

先週は、捕らえられたイエスについて学びました。そして次のように、この世界に属している人々は、自分にとって最善だと思うことに基づいて反応します。神の国に属する人々は、神の言葉で語られていることに基づいて反応します。

今日は、イエスがユダヤの権威者にどのように裁かれたかを見ていきます。

II. 裁判

(1)ユダヤの権威者たち

マタイによる福音書 26:57-62 を読みましょう。

人々はイエスを捕らえ、大祭司カイアファのところへ連れて行った。そこには、律法学者たちや長老たちが集まっていた。ペトロは遠くからイエスの後に付いて、大祭司の中庭まで行き、成り行きを見届けようと、中に入って、下役たちと一緒に座っていた。さて、祭司長たちと最高法院の全員は、死刑にしようとしてイエスに対する偽証を求めた。偽証者が何人も現れたが、証拠は得られなかった。最後に二人の者が来て、「この男は、『神の神殿を打ち倒し、三日あれば建てることができる』と言いました」と告げた。そこで、大祭司は立ち上がり、イエスに言った。「何も答えないのか。この者たちがお前に不利な証言をしているが、どうなのか。」

その夜、ペテロは彼らの後を追って大祭司の中庭へ行きました。祭司長たちと最高法院（サンヘドリン）の全員が、死刑にしようとしてイエスに対する偽証を求めていました。

しかし現れたのは偽証人だけでした。最終的に、二人の者が来て、イエスが「神の神殿を打ち倒し、三日あれば建てることができる」と言った、と訴えました。

ユダヤの古典業書「ミシュナ」によれば、サンヘドリンは裁判について厳しい規則を定めていました。
昼間に集まることが決められていました。過越祭の間は集うことはできませんでした。神殿の特定の場所で行われていました。自ら告訴することはできず、他人が持ち込んだ告訴のみを検討することができました。 判決を言い渡す前に、一晩待たなければなりませんでした。証拠として、ふたりの証人が必要でした。「偽証人」は死刑に罰せられました。

しかし、サンヘドリンがイエスを裁いたとき、ほぼすべての規則が破られていました。昼間ではなくて、夜に集まりました。過ぎ越しの時期を避けることなく、過ぎ越しの日に集まりました。神殿ではなく、大祭司の家に集まりました。他人が持ち込んだ告訴ではなく、告訴なしで裁きはじめました。一晩待つことはせず、すぐ判決を言い渡した。正当な証人はなく、偽証人しかいませんでした。最終的に、告訴に同意した証人をふたり見つけました。イエスが「私は神殿を壊して、3 日で建て直すことができる」と言った、と彼らは言いました。

ヨハネによる福音書 2:19 によれば、イエスが実際に言ったのは「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」でした。イエスは神殿を壊すとは言いませんでした。「もし彼らが神殿を壊したなら、建て直す」ことを言いました。そしてイエスは弟子たちに、これは自分の体のことだと言いました。

しかし、大祭司は恐らく、イエスが神殿を壊す計画を企てた、と告訴できると考えたのでしょう。

先週、私たちはユダとペテロの二人がどのよう

な点で神の国ではなく、「世の中」または「サタンの国」に住んでいたか学びました。彼らは自分が望むことを手人入れるため、自分が最善だと思うことのために生きていました。

ユダが望んでいたのはお金でした。そのためにイエスを騙しました。
ペテロが望んでいたのは、「安心感」でした。そのため、3 回も嘘をついて、イエスを知らないと言いました。
ユダヤ人の指導者たちが望んでいたのは、権力でした。そのため、神の言葉と計画に従わずに、イエスを殺そうと裁判を操ろうとしました。

(2)イエス

63-64 節を読みます。

イエスは黙っておられた。大祭司は言った。「生ける神に誓って我々に答えよ。お前は神の子、メシアなのか。」イエスは言われた。「それはあなたの言ったことだ。だが、私は言っておく。あなたがたは間もなく人の子が力ある方の右に座り天の雲に乗って来るのを見る。」

イエスは黙っておられました。しかし、大祭司は、生ける神に誓って答えるようにとイエスにこう尋ねました。「お前は神の子、メシアなのか。」、と。つまり、大司祭はこう言っているのです。「生ける神の前に立っているつもりで、正直に答えなさい。あなたはメシアで、神の子なのか。」

ここで私たちは、私たちが持っているものとは完全に異なる性質を見えます。

ビーバーとサソリの話を覚えているでしょうか。サソリがビーバーに、背中に乗せて川を渡たらせてほしいと頼んだ話です。ビーバーは「とんでもない。君は僕を刺すだろう。そんなことをしたら、溺れちゃうよ」と言いました。

サソリは「おいおい、そんなことするはずないじゃないか。そしたら僕も溺れるだろう。理屈で考えてみてよ」と言いました。ビーバーは「それもそうだな。いいよ、背中に乗ってくれ」と言いました。ところが、川を半分渡ったところで、サソリはビーバーを毒針で刺してしまいます。

二人が川に沈みながら、ビーバーはサソリに尋ねました。「なぜ刺したんだい？君が刺すはずがないと言ったじゃないか。」サソリは、ため息をついて言いました。「理屈じゃないんだ。これが僕の性分なんだ。」

ユダ、ペテロ、大祭司、あるいはこの世の人々の性分は、自分の感情を満たすためであれ、お金、権力、成功を得るためであれ、自分が望むことや、自分が最善だと信じることを行うことです。
イエスと神の国の人々の性分は、問題を起こしたり、恥をかいたりするように思えたとしても、すべてにおいて神の御言葉を信じて従うことです。

もちろん、後になって、ペテロは変わりました。ガラテヤ人への手紙の第 2 章には、ペテロがアンティオキアで異邦人のクリスチャンと一緒に食事をした時のことが書かれています。でもユダヤ人のクリスチャンが来ると、食事を共にすることを止めました。パウロはペテロを叱責し、ペテロは耳を傾けました。第一の弟子であり、教会の柱でもあるペテロを、です。

パウロは新参者でした。イエスと一緒に物理的にいませんでした。しかし、ペテロは、ほかの人の前でパウロが彼を正すことを許し、自分が間違っていたことを認めました。このとき、ペテロが神の国の性質を身に着けていたことが分かります。彼は、恥ずかしかったとは思いますが、それ以上に神の真理、神の御言葉に対して謙虚で従順でした。

実際、教会の中でもこういったことを目にします。時々、誰かが「私は嘘をつきました」、「私はあなたに腹を立てていました。どうか許してください。」、「私は罪を犯しました。私のために祈ってください。」と告白することがあります。

もし何も言わないでいれば、その場を逃れられるでしょう。恥ずかしい思いや、面倒を避けることができます。しかし、その人たちが持っている新しい性質によって、神の真理と神の御言葉に対して謙虚で従順でいるでしょう。

ですからイエスは、神が確立した権威によって、神の前で真実を語るように求められたとき、たとえそれがイエスにとって不利益であっても、神の御言葉と権威に謙虚に従いました。

イエスは「これはあなたが言ったことだ。」と言いました。言い換えれば、「あなたが正しい」ということです。そしてイエスは、旧約聖書を引用しました。「だが、私は言っておく。あなたがたは間もなく人の子が力ある方の右に座り天の雲に乗って来るのを見る。」いつの日か自分は神と世界を支配することになると言いました。

つまり、イエスは認めました。「はい、私はメシアです。そして神の子です。」

(3)神への冒涜

65-68 節を読みます。

そこで、大祭司は衣を引き裂いて言った。「神を冒瀆した。これでもまだ証人が必要だろうか。諸君は今、冒瀆の言葉を聞いた。どう思うか。」人々は、「死刑にすべきだ」と答えた。そして、イエスの顔に唾を吐きかけ、こぶしで殴り、ある者は平手で打って、「メシア、お前を殴ったのは誰か、言い当ててみろ」と言った。

イエスは、自分がメシアで神の子である、つまり神である、と認めた時、大祭司と議会は即座にイエスを冒涜罪で告発して、死刑を宣告しました。

もし彼らが神の御言葉と真理に導かれていたら、正しく行動し、彼ら自身のルールに基づいて、一晩待ってから判決を言い渡したであろう。そして、神の御言葉によって次のことがわかったはずです。
メシアは、ベツレヘムでダビデの家系の処女から生まれることになっていた。数多くの奇跡を起こす。ロバに乗って、エルサレムに入る。

そして、証拠を適切に調べていたら、イエスは、ベツレヘムで、ダビデの家系である処女から生まれた。数え切れないほどの奇跡を起こした。盲人は見えるようになり、口がきけない人は話せるようになり、足の不自由な人は歩けるようになり、悪霊は追い出され、病人は癒されました。それどころか、イエスは水の上を歩き、パンを増やし、嵐を静め、死者を蘇らせました。その中には、よく知られていたラザロもいました。そしてイエスは数日前にロバに乗って、エルサレムに入ったばかりでした。

そして、それだけではなく、イエスは生ける神に誓って、真実のみを言うように、嘘をついたら神に罰せられるようにと言われた後、イエスはメシアであり、御父とこの世を統べる神の子だ、と告白しました。

イエスは嘘をついて、神を冒涜している可能性はあります。しかし、神の御言葉を踏まえてどうですか。証拠を踏まえてどうですか？誓いを立てたということを踏まえてどうですか？
イエスが真実を語っていた可能性はどのくらいありますか？裁判で神を冒涜している可能性はどのくらいありますか？
実際、大祭司と議会が神と神の子を冒涜し、神の顔に唾をかけている可能性はどのくらいでしょうか？しかし、彼らは自分たちが望んでいることで頭がいっぱいになっていました。イエスを消して、権力を保つことを。世の中の嘘で心が占められていました。

私たちはどうでしょうか？数々の証拠はイエスが嘘ついていたことを指していますか？イエスが神の子であることを指していますか？

この裁判で非常に驚くべきことは、イエスの裁判であるはずですが、裁かれているのは大祭司とサンヘドリンのように見えます。つまり、イエスは完全な平穏にあったように思えます。しかし、彼らがうろたえて、完全に取り乱しているようでした。

なぜでしょう？イエスは神の御言葉に導かれることを決意し、自分の命を神の手に委ねていたので、イエスにもたらされた平安は、神の大きさに比例していました。

もし、私たちが神の御言葉に導かれることをいとわなければ、私たちに同じ平安がもたらされます。今日、そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2524jp

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
6 月 22 日（土）1:30pm - 5:30pm
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

https://t-b-c.us/classes

★クラス 101
クリスチャンとして成長するために
9 月 8 日（土）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org